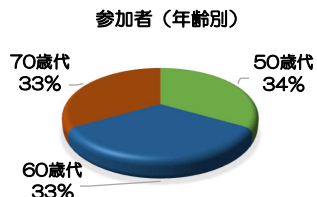
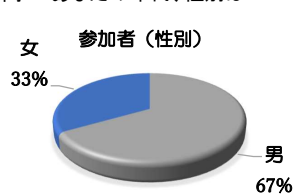
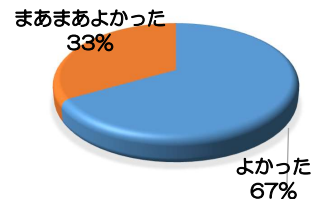


○秋のバードウォッチング(12/4)アンケート結果

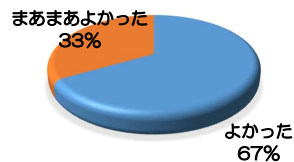
問1 あなたの年代、性別は…?



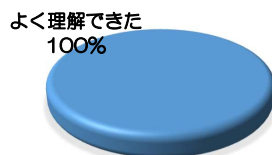
問3 日程はいかがでしたか？



問2 講座の全体的な企画は…?



問4 バードウォッチングについて…?



問5 あなたの好きな鳥は何ですか？

- ・ サンコウチョウ
- ・ ノビタキ

問6 あなたの見たい鳥は何ですか？

ヤツガシラ、ハヤブサ、クロサギ、カツオドリ、ツバメチドリ、ヘラシギ

問6 今日の講座について…?

- 大変たのしく採鳥ができました。
- 知らない鳥の名前が出て勉強になりました。
- いろいろなポイントを教えていただき、自力でもがんばって見たいくなりました。
- 楽しかったです。ありがとうございました。冬鳥に会えてうれしかったです。
- もっとアナウンスして、参加者が増えたらと…。



イナバヒタキ
(スズメ目ツグミ科)
写真提供：山本 浩さん

問7 今後の講座で…

- 春のバードウォッチング

ふるさと豊北の伝説と昔話

百済王角島へ亡命 (前篇)

韓国の新羅、高句麗、百済の3つの国に分かれていたころ、百済国の羅提希王(らていきおう)の父君は隠王(いんおう)は、隣の国と戦争をはじめた。戦争は、負け戦となり殺されそうになったので、家来はこっそり隠王を船に乗せて日本に逃した。当時、日本は73代堀河天皇承徳2年(1098)7月上旬であった。

隠王は、長門角島の瀬崎の港に漂着した。浦人たちが集まってきて、「どの舟か、このへんぢゃ見かけん舟だ」「異国船に違いない、乗り込んで調べんにやいけん」と勢い込んで舟に乗り込んだ。船室から気品のある老人が、迎えるように出てきて浦人に丁寧で黙礼した。早速「どこからきた」と尋ねたが、老人からの言葉はちんぷんかんぷん分らない。身振り手まねで聞き出そうとしたが全然通じない。そこで浦人たちは早速国主に報告した。

国主は浦人の報告から流人であるに違いない。しかし言葉が通じないために困っていたが、筆と紙を運ばせ筆談を始めた。

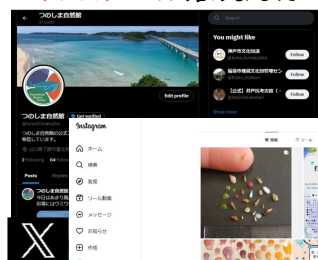
やがて、老人は、百済国の王さまであることが分かり、失礼があつてはならんと、剃髪させ、法衣を贈って、瀬崎ヶ丘にある光明山安寿寺(あんじゅみつじ)の住職にお迎えすることにした。僧名を伊羅羅堤坊(いがくらていぼう)といったそう。

(ふるさと豊北の伝説と昔話第一集より)

観察会のご案内



つノしま自然館
インスタ・X 始めました



<https://x.com/tunoshimakujira>



TSUNOSHIMANATURECENTER

instagram



編集後記

- 開館 21 年目の今年は、県の生物多様性の推進に向け、運営の見直しを検討するために「ワーキンググループ」が設置されました。
- 地元の関係者等が中心となり、改変計画がおおよそ終了しました。
- この改変計画に賛同し、ご協力頂いた皆様に対して、改めてご協力頂いたこと、誠にありがとうございました。

つノしま自然館だより

Tsunoshima kujira

第15号 2024.12.25

発行/豊北町自然観察指導員会

〒759-5332

下関市豊北町大字角島 893-1

つノしま自然館

☎/fax 083-786-0430

E-mail tunoshimakujira@w.wakwak.com



秋のバードウォッチング 11.03(日)



クジラ博士の出張授業(豊北小学校) 12.02(月)

豊北小学校で実施されたクジラの出張授業では、鯨類研究所等世界の機関が目視を始め、発信機をつけたりドローンを使用するなど、継続して調査を実施してきたことが説明され、2019年の報告の中でツノシマクジラが世界中のいろいろなところで発見されていて、その生態が明らかになりつつあることが紹介されました。

希少なクジラとして説明をしてきた私たちの知識も常にアップデートしなくてはならないと感じています。

館長 広瀬 徹



1 ユリヤガイの様子(その3)

11 角島の甲殻類

2 ユリヤガイについて